MASPRO

屋外(内)用 VUブースター（家庭用）

取扱説明書

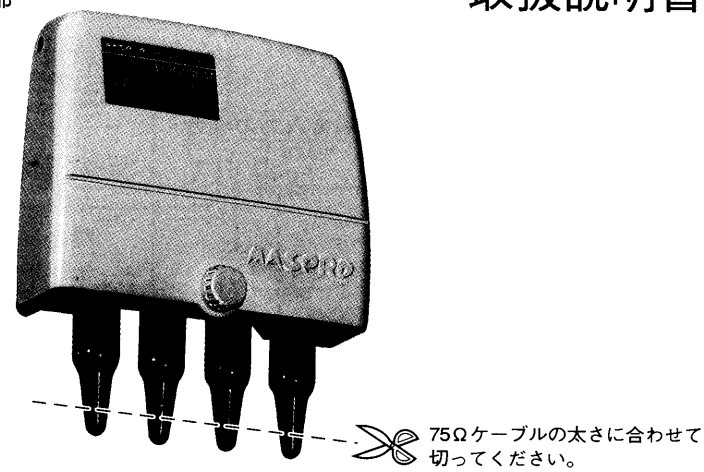
VU BOOSTER
伝送周波数帯域
76～108MHz, 170～222MHz, 470～770MHz
BS・CS（1032～1880MHz）ミキサー内蔵

VUB30BCM

DC15V方式

30dB型

FM・VHFとUHF帯域を増幅するブースターです。
BS・CSミキサー回路を内蔵していますから，VU信号とBSまたはCS信号を混合して，1本のケーブルで屋内へ引込むことができます。



MASter of PROduction
生産の覇者

高性能・高信頼

余裕のある高出力

電波の比較的強い地域で，出力レベルの低いブースターを使用すると，ビート縞やワイパー現象による妨害が発生します。(p.4参照)
VHF Lowは95dBμ，VHF High・UHFは100dBμの出力レベルが得られますから，電波の比較的強い地域で使用しても，障害のないきれいな画像で受信できます。

高信頼型避雷器内蔵

増幅部・電源部を応答速度の速いサージアブソーバー（避雷素子）で保護していますから，誘導雷の被害を最小限に抑えることができます。

利得調整回路

帯域（FM・VHF Low，VHF High，UHF）ごとに利得調整ができますから，出力レベルを最適に調整することができます。

BS・CSミキサー回路内蔵

BS・CS帯域（1032～1880MHz）の信号を混合するためのミキサー回路を内蔵していますから，FM・VHF・UHFと混合して1本のケーブルで屋内へ引込むことができます。

スイッチングレギュレーター方式の電源部

効率の良いスイッチングレギュレーターを使用していますから，発熱が少なく，小型で軽量です。

優れた機能

VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力に切換えできますから，ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用したVU混合入力の場合でも使用できます。

電流通過機能付

出力端子からBS・CS入力端子へ電流通過ができますから，BSまたはCSアンテナのコンバーターに，本器の電源部からDC15Vを給電することができます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各アンテナからのケーブルとブースター（増幅部）は，間違えないように，正しく接続してください。

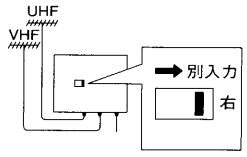
ご注意

各アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。また，アンテナとブースター（増幅部）が接近しすぎると，場合によってはブースターが発振して，受信障害になることがあります。

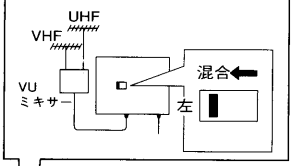
VU入力切換スイッチ

（出荷時はVU別入力になっています）

VU別入力の場合



VU混合入力の場合



FMカットスイッチ

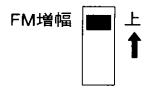
（出荷時はFM増幅になっています）

FMカットの場合

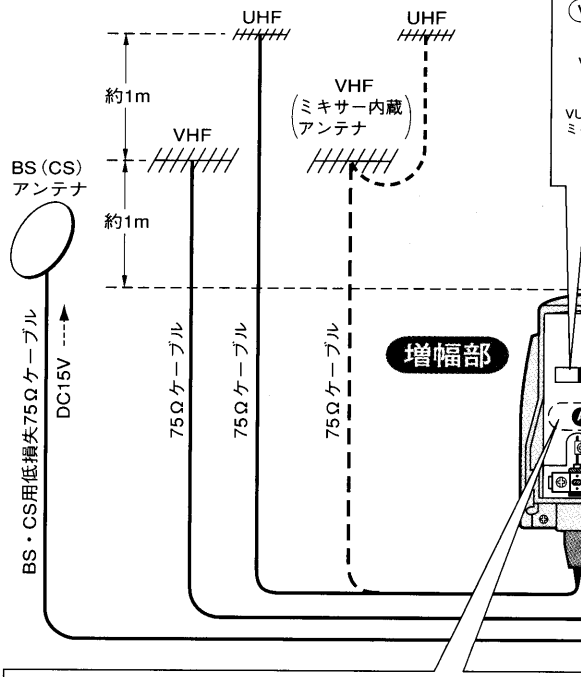
FM電波が強い地域

FM増幅の場合

FM電波が弱い地域



VU別入力の場合　VU混合入力の場合



利得調整

VHF Low：FM・ch1～3

VHF High：ch4～12

UHF：ch13～62

利得のツマミを最大（右）へいっぱいに回した状態）にして，画面にワイパー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様p.4参照）が出るときは，症状が消えるまで，（左）へ静かに回してください。

（出荷時はMAX.になっています）

ご注意

利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。

壁面取付用
木ネジ（2本）

ケーブルを接続しないときは，付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

増幅部からTVまではBS・CS用低損失75Ωケーブル**S5CFB**で50m位が限度です。

Ⓐ **VU混合入力端子**または**UHF入力端子**（VU混合入力ケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します）

Ⓑ **VHF入力端子**（VHFアンテナからのケーブルを接続します）VU混合入力のときは付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

Ⓒ **BS・CS入力端子**（BSまたはCSアンテナからのケーブルを接続します）

Ⓓ **出力端子**（電源部の入力端子Ⓔからのケーブルを接続する端子します）

BS・CS用低損失75Ωケーブル　DC15V

2分配器
2SPF

Ⓔ **入力端子**（増幅部の出力端子Ⓓへのケーブルを接続します。）

Ⓕ **出力端子**（BSセパレーターへのケーブルを接続します。）

電源スイッチ
電源表示灯

電源部

電源挿入型テレビ端子からのケーブルは，必ず電流通過端子に接続してください。

VU・BS

テレビ端子
DFMT

赤い端子

テレビ端子
（電源挿入型）
DFMTD

BSディジタルチューナー

映像（D端子）　音声

BS

BS・CS用低損失75Ωケーブル

AC100V

D端子付
TV

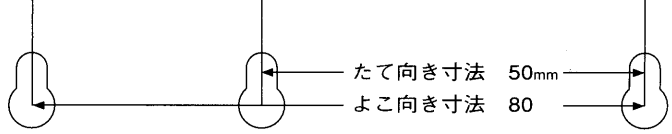
VU

BS（CS）セパレーター
CSR7D-P

BSコンバーターへの電源供給を必ず（切）にしてください。

端子カバー

ACプラグ（AC100V）は，取付工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。



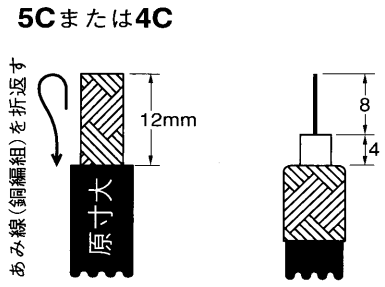
電源部の壁面取付寸法(原寸)

ケーブルの加工方法

(3Cは芯線が細く，損失も多いため，5Cまたは4Cを使用してください。)

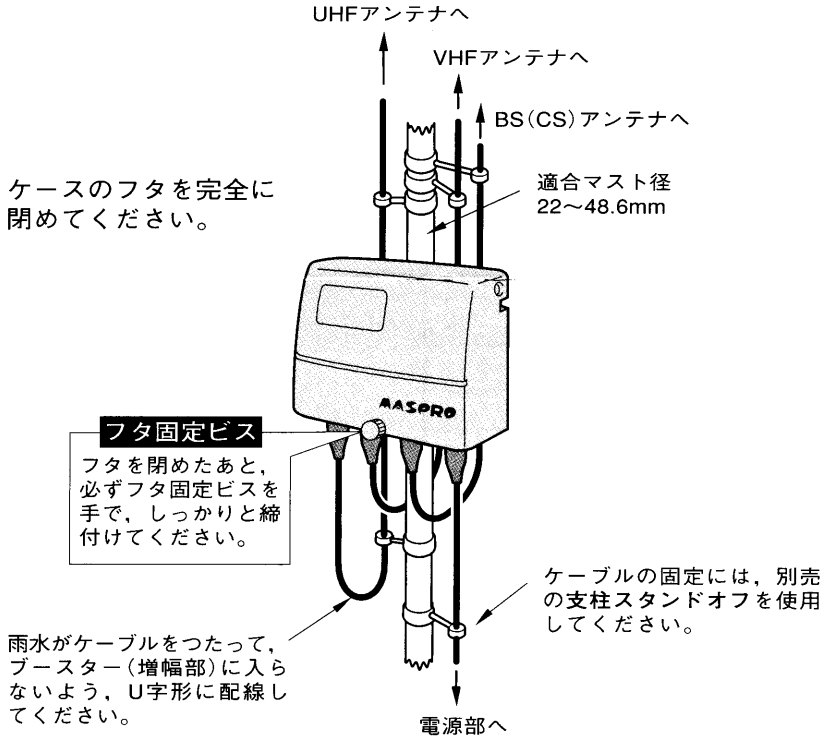
Ⓐ，Ⓑ，Ⓒ，Ⓓの各端子に接続するケーブルは，加工する前に付属の防水キャップ(大)に通してから，先端を図の寸法に加工してください。

(ブースターに接続するケーブルの先端は，すべて図の寸法に加工してください。)



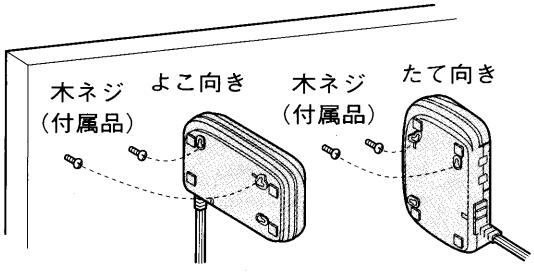
取付方法

増幅部



● 板壁面にも取付けることができます。

電源部



ご注意

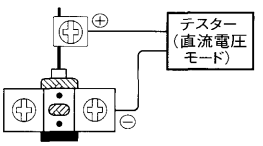
- 電源部は，温度上昇を防ぐため，風通しのよい場所に設置してください。
- 長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

よい画質が得られないときは

●各アンテナからのケーブルが，それぞれの入力端子に正しく接続してあることを，もう一度確認してください。

●電源部の電源表示灯は点灯していますか。

入力端子Ⓔ側がショートしていると過電流保護回路が作動して，電源表示灯が消えます。電源スイッチを「OFF」にして，原因を取除いてから，再度「ON」にしてください。



●ブースターに，DC14～15Vが供給されているか確認してください。増幅部の出力端子Ⓓにテスターを接続して確認してください。

BS(CS)の場合

画面にスパークリーノイズ（黒や白の尾を引く粒状の雑音）またはモザイク状のノイズが出る場合

スパークリーノイズ

- アンテナの方向がずれています。
  画像を見ながら，ノイズが最も少なくなるように，BSまたはCSアンテナの方向を再調整してください。
- BSまたはCSの入力レベルが不足しています。

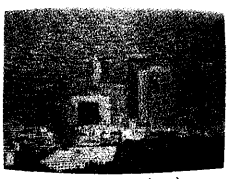
  BSまたはCSアンテナからのケーブルが長過ぎたり，損失の多いケーブルを使用していませんか。

  ケーブルをできるだけ短くしてください。

モザイク状のノイズ

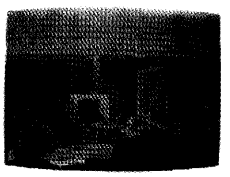
VHF・UHF(地上放送)の場合

画面が出ない場合，著しくスノーノイズが出る場合

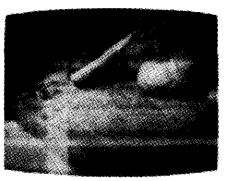

スノーノイズ

- VU入力切換スイッチが，正しく操作してあるかを確認してください。
- 利得調整がMIN.になっていないか確認してください。

画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

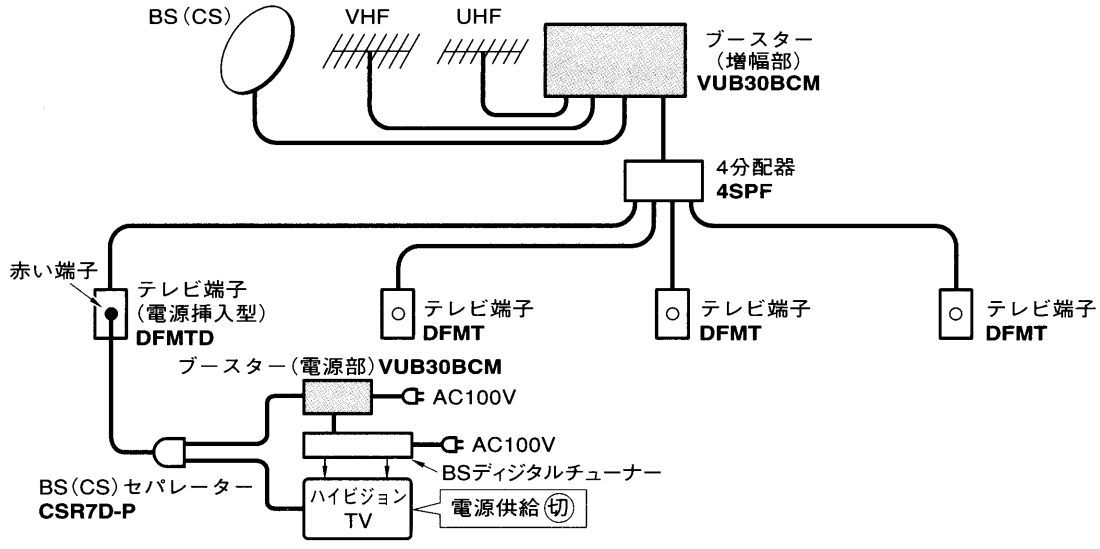

ビート縞

- 他の電波と混信していないかを確認してください。（外部からの混信電波を止める以外に方法はありません）
  画質が最もよくなるように，各アンテナの方向を調整してください。
- ch1～3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチをFMカット(下側)へ切換えてください。
- 利得調整を㊧へ回して，出力レベルが定格出力レベルになるまで下げてください。
- VHF Lowの入力レベルが，70～80dBμ，VHF Highの入力レベルが67～77dBμ，UHFの入力レベルが67～77dBμの場合，利得調整ツマミを㊧へゆっくり回してください。
- VHF Lowの入力レベルが80dBμ以上，VHF Highの入力レベルが77dBμ以上か，UHFの入力レベルが77dBμ以上のときは，障害のある帯域（VHFまたはUHFの入力端子に別売の減衰器**ATT6KFD**，**10KFD**，**15KFD**，**20KFD**）を接続してレベルを下げてください。

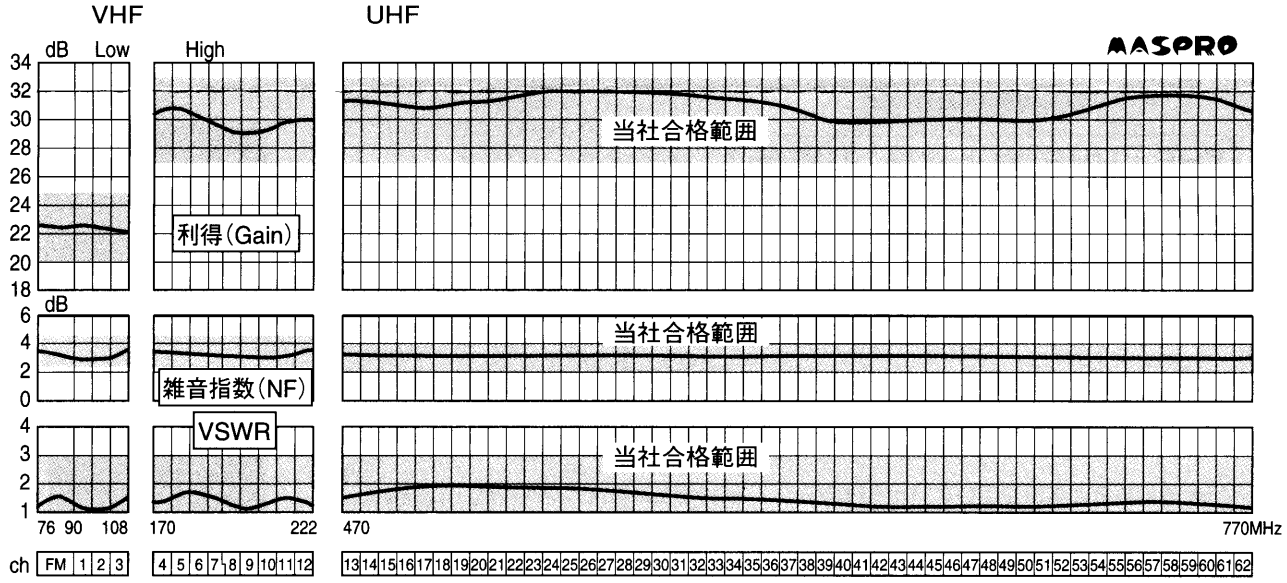

ワイパー現象

使用例

BSまたはCSを混合する場合，
その周波数帯域で性能が保証
されているケーブルや機器を
使用してください。



周波数特性 Frequency Characteristics



波形は実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振してご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

①入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって正しく接続してください。
②入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
③アンテナマストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナとブースター（増幅部）との間隔を
約1m離してください。

詳しくは，別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

規格表 Specifications（電気的特性は，JEITA表示法による）

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格			
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～108MHz(FM・ch1～3)	170～222MHz(ch4～12)	470～770MHz(ch13～62)	1032～1880MHz(BS・CS)
利得 Gain	20～25dB	27～33dB	27～33dB	—
挿入損失 Insertion Loss	—			0.5～3dB
利得偏差 Gain Response Flatness	3dB以内	3dB以内	5dB以内	—
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)	—
雑音指数 Noise Figure	2.5～4.5dB		2～4dB	—
実用入力レベル Operating Input Level	36.5(がまん限)～70dBμ(※80dBμ)	36.5(がまん限)～67dBμ(※77dBμ)	36(がまん限)～67dBμ(※77dBμ)	—
定格出力レベル Rated Output Level	95dBμ	100dBμ		—
混変調／相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	⊖46dB以下／⊖53dB以下		⊖46dB以下／—	—
VSWR	3以下			2.5以下
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω			
電源 Power Requirements	DC15V，0.15A (BS・CSコンバーターへ4W給電時：0.42A)			
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃			
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm			
質量（重量） Weight	約330g			
シンボル Symbol				

● 実用入力レベルの最小値（がまん限）は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
● ※は利得を最小（利得調整を(左)へいっぱいに回した状態）にしたときの，最大の実用入力レベルです。

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Input Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	AC100V 50・60Hz 4W (BS・CSコンバーターへ4W給電時：8.4W)
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V 0.15A (BS・CSコンバーターへ4W給電時：0.42A)
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω
挿入損失 Insertion Loss	0.2～3dB
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	42(H)×149(W)×98(D)mm
質量（重量） Weight	約260g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ（大）……4個
〃　（小）……1個
木ネジ（電源部壁面用）……2本

意匠登録　第940931号
〃　第933747号

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802－2244
工事営業部 〃 (052)802－2225
技術相談 〃 (052)805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

JUL., 2002

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-402
B-27-4402-3L